

第 36 回修習技術者支援セミナー 平成 30 年度技術士第一次試験合格者祝賀会【高知】

H31. 1. 26

平成 31 年 1 月 26 日（土）に高知市文化プラザ「かるぽーと」9 階第 2 学習室において、第 36 回修習技術者支援セミナー及び平成 30 年度技術士第一次試験合格者祝賀会が行われた。

参加人数は、23 名（会員 9 名、非会員 14 名）、うち新合格者は 12 名であった。



セミナーの様子

講義：「技術士制度について」

講師：修習技術者支援委員 松本 直 氏

松本氏から「技術士制度について」と題して、技術士・技術士制度の概要や修習技術者のあり方について講義があった。

講義では、技術士を目指す修習技術者に求められる基本修習課題と資質・能力や修習活動の手順などの説明を行った。



松本直氏の講義

合格体験談発表①

発表者：一般社団法人四国クリエイト協会

高村 玲氏

平成 29 年度に技術士二次試験に合格された高村氏から技術士第一次試験と第二次試験への挑戦の経緯や試験に向けての勉強方法、技術士取得後

の思いについて発表があった。

社内では技術士の割合が少なく、難易度が高い技術士資格は、実務上は必要ないのではと考えていたが、職場の先輩の合格に触発され技術士取得を目指すことになったことや、試験に挑戦する中で自分の成長を感じたこと、具体的な勉強方法などについて発表であり、これから受験を目指す修習技術者にとって参考になる発表であった。



高村玲氏の発表

合格体験談発表②

発表者：株式会社第一コンサルタンツ

松本 洋一氏

平成 29 年度に技術士二次試験に合格された松本氏から自身のキャリアの中で幾つかの転機を経て合格に近づいたことや試験の取組みについて発表があった。

試験の取組みについては、問題の出題傾向を掴むため、着目するポイントや具体的な収集資料の解説があり、これから受験する修習技術者にとって参考になる発表であった。



松本洋一氏の発表

『四国本部活動紹介』

発表者：修習技術者支援委員 副委員長

横山 成郎 氏

横山氏から(公社)日本技術士会四国本部の紹介として、四国本部の組織概要やビジョン・強み、事業方針の他、各委員会の活動概要について説明があった。



横山成郎氏の発表

『ディスカッション(全員参加)』

最後に参加者を2班に分けて、技術士と修習技術者とのディスカッションを行った。

「修習活動を維持するモチベーション」をテーマとして、技術士の方から自分の受験時における心構えや修習技術者の現在の気持ちなど様々な意見を直接討論した。



ディスカッションの様子

技術士第一次試験合格者祝賀会(風待食堂)

セミナー終了後、風待食堂に移動し、技術士一次試験合格者祝賀会を開催した。

参加者は、16名、うち新合格者7名であった。

祝賀会では、セミナーの発表内容に関する質問やディスカッションでの内容についての更なる議論が行われた。



高知県支部長 河野一郎氏の挨拶

〈アンケート結果〉

本セミナーのアンケート結果は、次頁の集計結果のとおりである。アンケートは21名の提出があり、回収率は91%であった。

参加者は高知県が66%、技術部門は建設部門が77%、年齢構成は20代30%、30代10%、40代35%であった。また、セミナーの感想は、「非常に良かった」・「良かった」であった。

セミナーの感想も多くあり、合格者体験談発表は修習技術者にとって参考になる発表であるといった意見が見られた。

また、今回実施したディスカッションは修習技術者にとっても意見交換の場として有益なものであると思われる。

次回以降のセミナーにおいても講義と発表だけでなく、今回のような参加者と講師の交流の場などを設けることも必要であると思われる。

—以上—

H31.1.26 第36回修習セミナーアンケート集計(高知県開催)

修習セミナー参加者: 23名
アンケート回収: 21名
回収率: 91%

Q1: あなたの主たる活動県を教えてください。

①徳島県	②香川県	③愛媛県	④高知県	⑤その他	計
1	5	1	14	0	21

Q1



Q2: あなたの技術部門を教えてください。(複数回答可)

①機械	②電気電子	③建設	④応用理学	⑤農業	⑥環境	⑦その他	計
0	0	17	1	0	1	3	22

経営工学2名
森林1名

Q2



Q3-1: あなたの性別

①男	②女	計
17	4	21

Q3-2: あなたの年齢

①20代	②30代	③40代	④50代	⑤60代	⑥70代以上	計
6	2	7	3	2	0	20

Q4: これまでに修習セミナーに参加したことはありますか

①2回以上ある	②1回だけある	③ない(今回初めて)	計
8	1	12	21

Q5: 修習セミナーを知った方法

①技術士会からのメール	②技術士会報誌	③案内のチラシ	④知り合いの誘い	⑤その他	計
8	3	5	2	3	21

会社の上司、会社での案内等

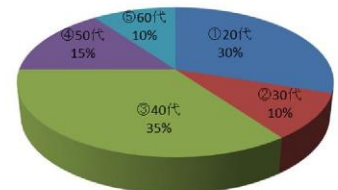
Q6: 修習セミナーの感想

①非常に良かった	②良かった	③ふつう	④あまり良くなかった	⑤非常に良くなかった	計
9	12	0	0	0	21

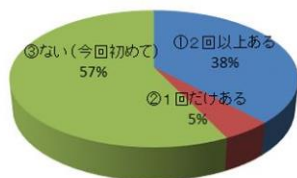
理由等

- ・ディスカッションを行うことで修習技術者の意見を聞くことが出来た
- ・受験のノウハウを聞いた ・合格者の体験談が参考になった
- ・松本さんの体験談が修習技術者に良かったのではないかと思います
- ・技術士を目指すうえで何が必要か理解できました
- ・合格者とのディスカッションは有意義でした
- ・他業種の技術士の方と交流・意見交換ができて有意義でした
- ・体験談を聞いたのが良かった ・合格体験談発表が新鮮で良かった
- ・体験談の発表やディスカッションなど多様なプログラムがあり良かった
- ・技術士に対する全体的な説明と合格体験者の説明によりぼんやりとしていた技術士、目指すべき技術者のイメージが少しは出来たと感じた
- ・二次試験に合格された人の体験談、一次試験に合格された人たちがどのように考えているのか等ディスカッションを通して知ることができた。
- 今後のために横の交流を広げられるよう取り組んでいきたい
- ・第二次試験合格者の体験談が非常に良かった。特に第一Cの松本さん
- ・同じ会社で働く仲間の体験談を聞くことができてよかった。一次試験合格でゴールのような気がしていたが、まだまだスタートラインにも立ててないので、これから技術士めざしてがんばりたい

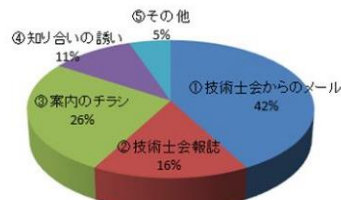
Q3-2



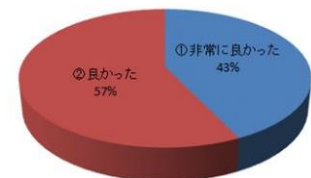
Q4



Q5



Q6



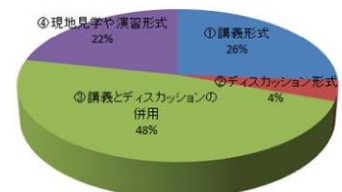
Q7: 今後のセミナーで望む方式(複数回答可)

①講義形式	②ディスカッション形式	③講義とディスカッションの併用	④現地見学や演習形式	計
6	1	11	5	23

意見等

- ・ディスカッションのテーマが固すぎたと思う
- ・県外への参加は難しいので県内開催を希望します
- ・修習技術者との双方向でのセミナー・ディスカッションが大切

Q7



Q8: その他意見

- ・新規合格者だけでなく受験に悩んでいる(失敗しつづけている)修習技術者をできるだけ多く参加させる方法が必要ですね
- ・グループ討議は有意義でした